

別紙様式 45

回復期リハビリテーション病棟入院料及び特定機能病院リハビリテーション病棟入院料におけるリハビリテーション実績指数等に係る報告書

医療機関コード： 18, 1033, 9

担当者氏名： 矢吹 正直

電話番号： 0553-26-4126

保険医療機関名	春日居総合リハビリテーション病院
郵便番号	406-0014
住所	山梨県笛吹市春日居町国府 436
報告年月日	令和 8 年 8 月 1 日
直近の報告年月日	令和 8 年 8 月 1 日
届出入院料	☒ 回復期リハビリテーション病棟入院料 ☐ 特定機能病院リハビリテーション病棟入院料

※（特定機能病院リハビリテーション病棟入院料を届け出ている場合は、以下における「回復期リハビリテーション病棟入院料」を「特定機能病院リハビリテーション病棟入院料」と読み替えること。）

1. 退棟患者数

①		(8.1) 月	(8.4) 月	(8.7) 月	(8.10) 月
②	前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟から退棟した患者数	63 名	67 名	65 名	59 名

2. 1日当たりのリハビリテーション提供単位数

①		(8.1) 月	(8.4) 月	(8.7) 月	(8.10) 月
③	前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟に入院していた回復期リハビリテーションを要する状態の患者の延べ入院日数	16371 日	16699 日	17407 日	17032 日
④	前月までの6か月間に③の患者に対して提供された疾患別リハビリテーションの総単位数（i + ii + iii + iv + v）	125481 単位	123431 単位	126193 単位	127633 単位
再掲	i 前月までの6か月間に③の患者に対して提供された心大血管疾患リハビリテーションの総単位数	単位	単位	単位	単位

	ii	前月までの6か月間に③の患者に対して提供された脳血管疾患等リハビリテーションの総単位数	89725 単位	84732 単位	87104 単位	93139 単位
	iii	前月までの6か月間に③の患者に対して提供された廃用症候群リハビリテーションの総単位数	19836 単位	20986 単位	15371 単位	11819 単位
	iv	前月までの6か月間に③の患者に対して提供された運動器リハビリテーションの総単位数	15920 単位	17713 単位	23718 単位	22675 単位
	v	前月までの6か月間に③の患者に対して提供された呼吸器リハビリテーションの総単位数	単位	単位	単位	単位
⑤	1日当たりのリハビリテーション提供単位数 (④/③)		7.6 単位	7.3 単位	7.2 単位	7.4 単位

3. リハビリテーション実績指数

①		(8.1)月	(8.4)月	(8.7)月	(8.10)月
⑥	前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	148 名	146 名	192 名	218 名
⑦	⑥のうち、リハビリテーション実績指数の計算対象とした患者数	64 名	67 名	65 名	59 名
⑧	⑦の患者の退棟時のFIM得点(運動項目)から入棟時のFIM得点(運動項目)を控除したものの総和	2193 点	2045 点	2068 点	2144 点
⑨	⑦の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和	42.220	46.963	46.678	44.769
⑩	リハビリテーション実績指数 (⑧/⑨)	51 点	43 点	44 点	47 点

4. 除外患者について(届出の前月までの6か月について以下を記入する。)

⑪	届出の前月までの6ヶ月	(8.4)月	(8.5)月	(8.6)月	(8.7)月	(8.8)月	(8.9)月
⑫	入棟患者数	35 名	22 名	24 名	26 名	21 名	22 名
⑬	高次脳機能障害患者が退棟患者数の40%以上であることによる除外の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
⑭	⑬による除外がある場合は除外後の入棟患者数(⑬が有の場合のみ)	18 名	11 名	10 名	11 名	12 名	16 名

⑮ リハビリテーション実績 指数の計算対象から除外し た患者数	5 名	3 名	2 名	2 名	2 名	2 名
⑯ 除外割合 (⑮÷(⑫又は⑭))	28%	27%	20%	18%	17%	13%

5. 高次脳機能障害患者が40%以上であることによる除外について(⑬が有の場合には、それぞれ⑪の7か月前から前月までの6か月間の状況について記入。)

※()にはそれぞれ⑪の前月を 記載	(8.3)月 までの 6か月	(8.4)月 までの 6か月	(8.5)月 までの 6か月	(8.6)月 までの 6か月	(8.7)月 までの 6か月	(8.8)月 までの 6か月
⑰ 6か月間の退棟患者数	146 名	154 名	179 名	192 名	223 名	225 名
⑱ ⑰のうち、高次脳機能障害の患 者数	64 名	68 名	78 名	88 名	105 名	108 名
⑲ 高次脳機能障害患者の割合 (⑱÷⑰)	44%	44%	44%	46%	47%	48%

6. 前月の外来患者に対するリハビリテーション又は訪問リハビリテーション指導の実施
(あり ・ なし)

[記載上の注意]

- ①については、毎年8月に報告する際には、前年10月、当該年1月、4月及び7月について記入する。別の月に報告する際には、報告を行う月及び報告を行う月以前で1月、4月、7月及び10月のうち直近の月について記入する。ただし、新規に当該入院料の届出を行うなど、当該月について算出を行っていない項目については、記入は不要である。
- ②はリハビリテーション実績指数の計算対象となったものに限る。
- ④は選定療養として行われたもの及びその費用が回復期リハビリテーション病棟入院料に包括されたものを除く。
- ⑫は入棟時に回復期リハビリテーションを要する状態であったものに限る。
- ⑮の除外患者数は、入棟日においてFIM運動項目の得点が20点以下若しくは76点以上、FIM認知項目の得点が24点以下、又は年齢が80歳以上であったことによりリハビリテーション実績指数の計算対象から除外したのものに限る。
- ⑯の除外割合は、⑬が「有」の場合は⑮÷⑭、「無」の場合は⑮÷⑫とする。
- ⑰は在棟中に回復期リハビリテーション病棟入院料を算定した患者に限る。
- ⑬、⑱、⑲の高次脳機能障害とは、「基本診療料の施設基準等」別表第九に掲げる「高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の場合」に該当する、回復期リハビリテーション入院料が算定開始日から起算して180日以内まで算定できるものに限る。
- 「前月の外来患者に対するリハビリテーション又は訪問リハビリテーション指導の実施」については「あり」又は「なし」の該当するものを○で囲むこと。